

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和7年8月分【廃棄物埋立中調査①】)

【廃棄物処分場周辺 水質】

【廃棄物搬入施設周辺 大気質・交通量・悪臭】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 10
3. 調査結果の概要	I - 11

II 事後調査結果

1. 水質（廃棄物処分場周辺）	II - 1
2. 大気質（廃棄物搬入施設周辺）	II - 9
3. 交通量（廃棄物搬入施設周辺）	II - 17
4. 悪臭（廃棄物処分場周辺）	II - 22

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和 7 年 8 月の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1（1）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日～31日	通年連続

表－1（2）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月22日	1回／月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

表－１（３）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（放流水、内水及び護岸外周（１）））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	8月1日～31日	連続測定
浮遊物質量(SS)	放流水 1点	放流水、内水 8月5日、21日、26日	1回／週
不揮発性浮遊物質量(FSS)	内 水 1点		
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	放流水、内水 8月5日	1回／月
全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌数		放流水、内水 8月5日	4回／年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質量(SS) 不揮発性浮遊物質量(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層: 海面下1m 下層: 海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌数は上層のみ調査	8月22日	4回／年 (5月、8月、11月、2月)

表－１（４）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（放流水、内水及び護岸外周（２）））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等（アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物） 1,4-ジオキサン クロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン	放流水 1点 内 水 1点 （処理原水） 護岸外周 3点×2層 （護岸から30m） 【19, 20, 21】 上層：海面下1m 下層：海底面上2m シス-1,2-ジクロロエチレンは放流水・内水のみ調査 クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレンは護岸外周のみ調査	放流水、内水 8月5日 護岸外周 8月22日	放流水、内水 4回／年 （5月、8月、11月、2月） 護岸外周 4回／年 （5月、8月、11月、2月）
ダイオキシン類	ダイオキシン類は上層のみ調査	放流水、内水 8月5日 護岸外周 8月22日	放流水 4回／年 （5月、8月、11月、2月） 内 水 2回／年 （8月、2月） 護岸外周 1回／年 （8月）

表－１（５）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 水質（処分場周辺））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層: 海面下1m 下層: 海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌数は上層のみ調査	8月22日	4回／年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 1,4-ジオキサン		8月22日	2回／年 (8月、2月)

表－１（６）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	8月22日	2回／年 (8月、2月)

表－１（７）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 底質（処分場周辺））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) 【15】	8月22日	2回／年 (8月、2月)
●有害項目＜含有量試験＞ アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機磷 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル バナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

表－１（８）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 騒音・低周波音）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波音圧レベル	1点 野鳥園臨港緑地(南港野鳥園)	—	2回／年 (4月、10月)

表－１（９）事後調査の概要（廃棄物処分場の埋立に係る調査 悪臭）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点 野鳥園臨港緑地(南港野鳥園)	8月8日	2回／年 (8月、9月)

表－１（１０）事後調査の概要（廃棄物搬入施設に係る調査 大気質、騒音、振動、交通量、悪臭）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質	二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地周辺 : 2点 【No.2、3】 堺基地周辺 : 2点 【No.1、2】	1週間×4回／年 (5月、8月、11月、2月)
騒音	道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地周辺 : 2点 【No.2、3】 堺基地周辺 : 2点 【No.1、2】	2回／年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動	道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地周辺 : 2点 【No.2、3】 堺基地周辺 : 2点 【No.1、2】	2回／年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量	廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地周辺 : 3点 【No.1、2、4】 堺基地周辺 : 4点 【No.1、2、3、4】	4回／年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭	臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地周辺 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地周辺 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】	2回／年 (6月、8月)

※泉大津基地周辺については、令和7年4月より泉大津基地の稼働を終了しているため、調査を実施していない

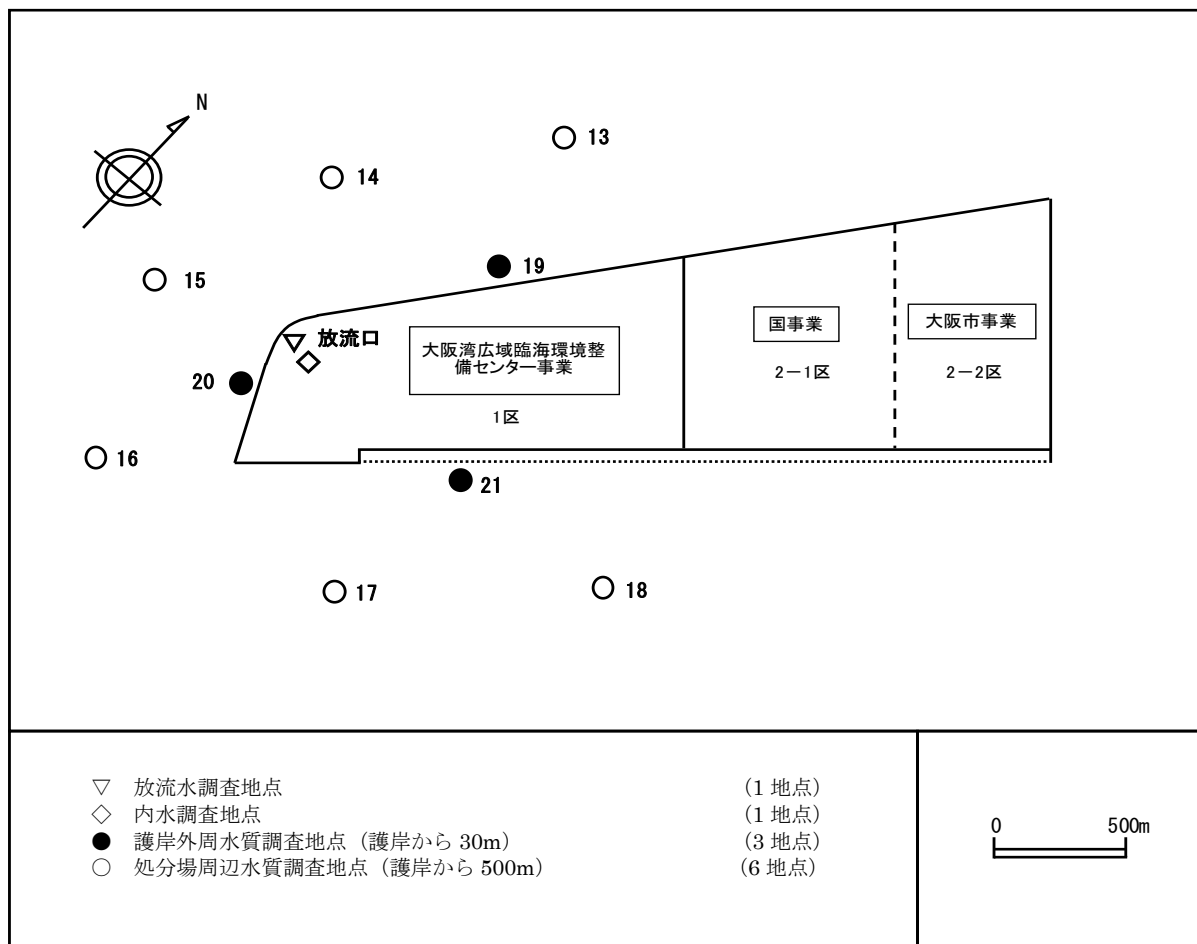
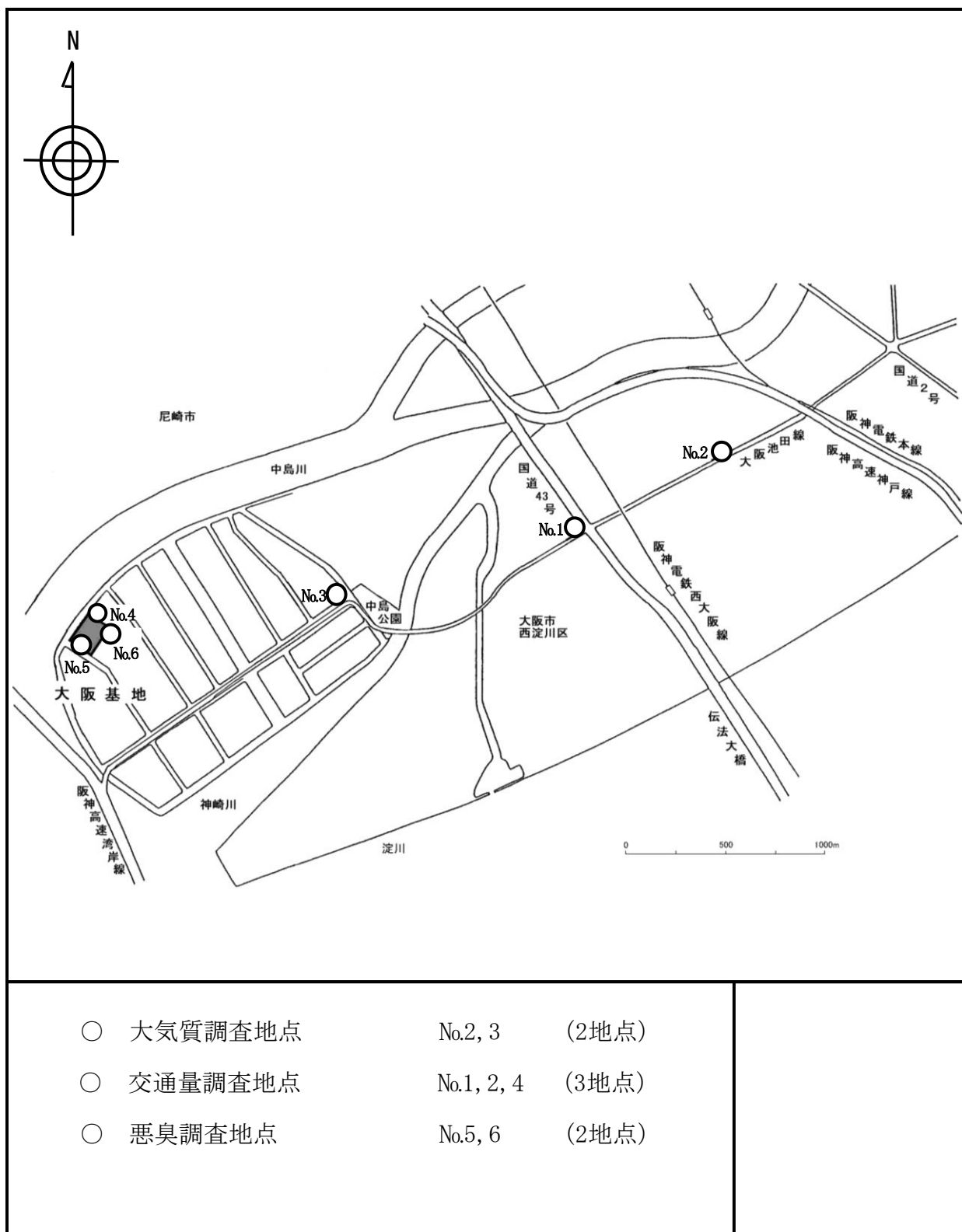
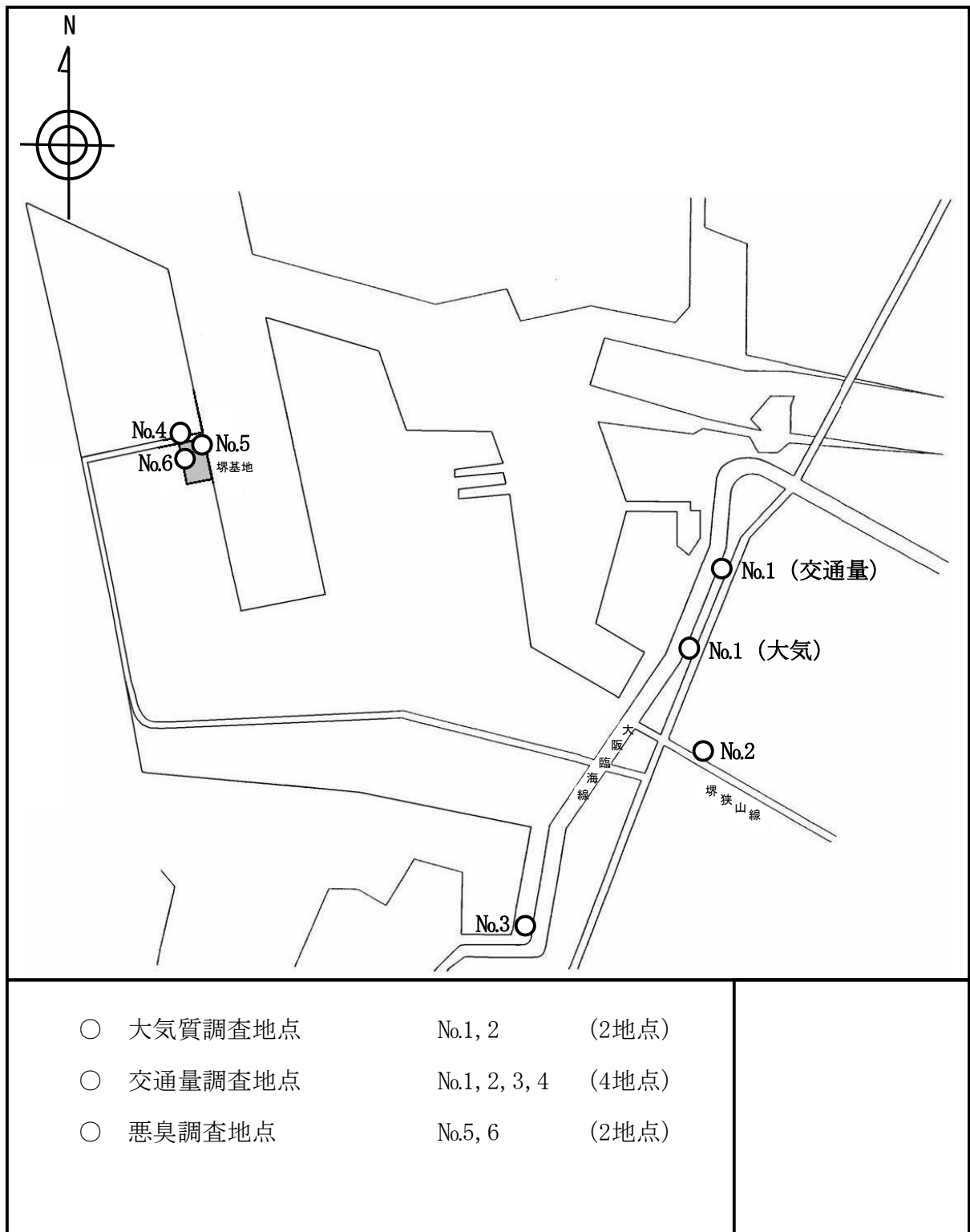


図-1(1) 廃棄物処分場周辺における水質の調査地点



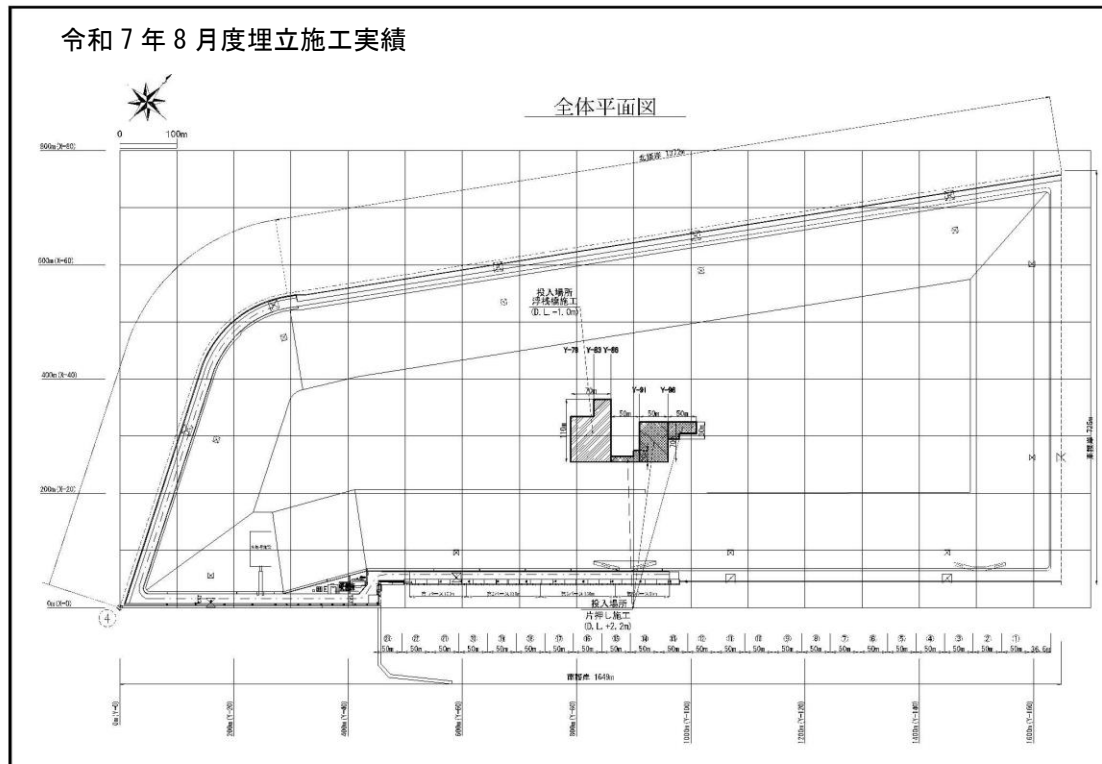
図－1(2) 廃棄物搬入施設周辺における調査地点(大阪基地周辺)



図－1（3） 廃棄物搬入施設周辺における調査地点（堺基地周辺）

2. 工事の実施状況

令和7年8月の工事の実施状況は、図－2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
8,320,825.7	59.5

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図－2 工事の実施状況（大阪沖処分場平面図）

3. 調査結果の概要

廃棄物処分場の埋立に係る調査

(1) 大気質

令和7年8月分【埋立中共通調査①】に記載

(2) 水質

①一般項目

令和7年8月分【埋立中共通調査①】に記載

②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第6～10、12号]

1) 放流水（連続測定）

濁度は、1.2～2.1 度(カリン)（平均値 1.6 度(カリン)）の範囲であった。

水温は、32.0～34.2℃（平均値 33.1℃）の範囲であった。

pH は、6.9～7.1 の範囲であり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値（5.0 以上 9.0 以下）の範囲内にあった。

COD は、24.5～25.8mg/L（平均値 25.1mg/L）の範囲であり、測定期間を通じて放流水の基準値（90mg/L）及び管理目標値（40mg/L）を下回っていた。

DO は、4.4～5.6mg/L（平均値 4.9mg/L）の範囲であった。

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、報告下限値未満（<1mg/L）～1mg/L（平均値 1mg/L）の範囲であり、全測定を通じて放流水の基準値（60mg/L）及び管理目標値（50mg/L）を下回っていた。

FSS は、いずれも報告下限値未満（<1mg/L）であった。

pH は、7.2 であり、放流水の基準値及び管理目標値（5.0 以上 9.0 以下）の範囲内であった。

COD は、23mg/L であり、放流水の基準値（90mg/L）及び管理目標値（40mg/L）を下回っていた。

T-N は、25mg/L であり、放流水の基準値（120mg/L、日間平均 60mg/L）及び管理目標値（30mg/L）を下回っていた。

T-P は、0.03mg/L であり、放流水の基準値（16mg/L、日間平均 8mg/L）及び管理目標値（4mg/L）を下回っていた。

n-ヘキサン抽出物質は、報告下限値未満（<0.5mg/L）であり、放流水の基準値及び管理目標値（鉱油類含有量 5mg/L、動植物油脂類含有量 30mg/L）を下回っていた。

大腸菌数は、26 CFU/mL であり、放流水の基準値及び管理目標値（日間平均 800CFU/mL 以下）を下回っていた。

健康項目等については、事後調査報告書（令和7年8月分【廃棄物埋立中調査②】）で報告する。

・内水

SS は、3～4mg/L（平均値 3mg/L）の範囲であった。

FSS は、いずれも 2mg/L（平均値 2mg/L）であった。

pH は 7.7、COD は 26mg/L、T-N は 40mg/L、T-P は 0.10mg/L、n-ヘキサン抽出物質は報告下限値未満（<0.5mg/L）、大腸菌数は 0 CFU/mL であった。

健康項目等については、事後調査報告書（令和 6 年 8 月分【廃棄物埋立中調査②】）で報告する。

3) 護岸外周

ア) 浮遊物質（SS）

浮遊物質（SS）は、上層でいずれも 3mg/L、下層で 3～5mg/L の範囲であった。

イ) 不揮発性浮遊物質（FSS）

不揮発性浮遊物質（FSS）は、上層で 1～2mg/L、下層で 1～3mg/L の範囲であった。

ウ) 水素イオン濃度（pH）【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度（pH）は、上層で 8.4～8.7、下層で 8.1～8.3 の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 19（8.4）、調査地点 20（8.5）及び調査地点 21（8.7）であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、上層で 8.0～8.7 であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

エ) 化学的酸素要求量（COD）【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量（COD）は、上層で 3.8～4.3mg/L、下層で 2.4～2.5mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 19（4.0mg/L）、調査地点 20（3.8mg/L）及び調査地点 21（4.3mg/L）であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、上層で 2.1～8.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

オ) 溶存酸素量（DO）【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量（DO）は、上層で 7.1～10mg/L、下層で 3.8～5.2mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では過半数の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 20（3.8mg/L）及び調査地点 21（4.6mg/L）であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、下層で 1.9～9.5mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられ

る。

カ) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は、上層で 0.52～0.62mg/L、下層で 0.30～0.56mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 20 (0.62mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 13～18) における水質調査の結果は、上層で 0.40～1.4mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

キ) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は、上層で 0.087～0.10mg/L、下層で 0.070～0.11mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 19 (0.087mg/L) 及び調査地点 20, 21 (0.10mg/L)、下層の調査地点 19 (0.070mg/L)、調査地点 20 (0.088mg/L) 及び調査地点 21 (0.11mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 13～18) における水質調査の結果は、上層で 0.033～0.18mg/L、下層で 0.014～0.16mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響は非常に小さいと考えられる。

ク) n-ヘキサン抽出物質 【環境基準値：検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は、全ての調査地点において報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、環境基準に適合していた。

ケ) 大腸菌数

大腸菌数は、全ての調査地点において報告下限値未満 (<1CFU/100mL) であった。

コ) 健康項目等

事後調査報告書 (令和 7 年 8 月分【廃棄物埋立中調査②】) で報告する。

②-2 処分場周辺 [水質様式第 16 号]

1) 濁度

濁度は、上層で 1～2 度(カリン)、下層で 1～4 度(カリン)の範囲であった。

2) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は、上層で 3～4mg/L、下層で 1～5mg/L の範囲であった。

3) 不揮発性浮遊物質 (FSS)

不揮発性浮遊物質 (FSS) は、上層で 1～2mg/L、下層で報告下限値未満 (<1mg/L) ～3mg/L の範囲であった。

4) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は、上層で 8.3～8.7、下層で 7.9～8.2 の範囲であり、上層ではほとんどの調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 14,16 (8.5)、調査地点 15,17 (8.6) 及び調査地点 18 (8.7) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 13～18) における水質調査の結果は、上層で 8.0～8.7 であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

5) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は、上層で 4.0～5.0mg/L、下層で 2.0～2.4mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 13 (4.2mg/L)、調査地点 14 (4.0mg/L)、調査地点 15 (5.0mg/L)、調査地点 16,17 (4.5mg/L) 及び調査地点 18 (4.9mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 13～18) における水質調査の結果は、上層で 2.1～8.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

6) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は、上層で 7.7～10mg/L、下層で 2.7～5.5mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では過半数の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 15 (4.5mg/L)、調査地点 16 (3.7mg/L)、調査地点 17 (2.7mg/L) 及び調査地点 18 (3.2mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 13～18) における水質調査の結果は、下層で 1.9～9.5mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

7) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は、上層で 0.25～0.64mg/L、下層で 0.24～0.38mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 14 (0.64mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域 (調査地点 13～18) における水質調査の結果は、上層で 0.40～1.4mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

8) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は、上層で 0.076～0.11mg/L、下層で 0.053～0.085mg/L の範囲であり、上層及び下層ともに全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 13 (0.083mg/L)、調査地点 14

(0.076mg/L)、調査地点 15(0.092mg/L)、調査地点 16(0.081mg/L)、調査地点 17(0.097mg/L) 及び調査地点 18 (0.11mg/L)、下層の調査地点 13 (0.053mg/L)、調査地点 14 (0.058mg/L)、調査地点 15 (0.073mg/L)、調査地点 16 (0.074mg/L)、調査地点 17 (0.083mg/L) 及び調査地点 18 (0.085mg/L) であった。廃棄物等受入前の当海域（調査地点 13～18）における水質調査の結果は、上層で 0.033～0.18mg/L、下層で 0.014～0.16mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

9) クロロフィル a

クロロフィル a は、上層で 5.9～18µg/L、下層で 0.5～1.7µg/L の範囲であった。

10) n-ヘキサン抽出物質【環境基準値：検出されないこと】

n-ヘキサン抽出物質は、全ての調査地点において報告下限値未満 (<0.5mg/L) であり、環境基準に適合していた。

11) 大腸菌数

大腸菌数は、全ての調査地点において報告下限値未満 (<1 CFU/100mL) であった。

12) カドミウム等

事後調査報告書（令和 7 年 8 月分【廃棄物埋立中調査②】）で報告する。

(3) 底質

1) 一般項目

事後調査報告書（令和 7 年 8 月分【埋立中共通調査②】）で報告する。

2) 処分場周辺

事後調査報告書（令和 7 年 8 月分【廃棄物埋立中調査②】）で報告する。

(4) 騒音・低周波音

8 月は実施せず。

(5) 悪臭

事後調査報告書（令和 7 年 8 月分【廃棄物埋立中調査②】）で報告する。

廃棄物搬入施設に係る調査

(1) 大気質 [大気質様式第 9～16 号]

1) 大阪基地周辺

7) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 2.7m/sec であった。

4) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は 3.0m/sec であった。

2) 堺基地周辺

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は 1.1m/sec であった。

4) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は 1.1m/sec であった。

(2) 騒音・振動

8 月は実施せず。

(3) 交通量 [交通量様式第 1～2 号]

1) 大阪基地周辺

7) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 1)

時間交通量は 1,051～1,356 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～3 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 11 台/10hr で、総交通量(12,509 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

4) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

時間交通量は 913～1,485 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～3 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 10 台/10hr で、総交通量(12,214 台/10hr)に占める割合は 0.1% であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

7) 大阪基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 129～216 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～78 台で推移し、測定日の廃

棄物輸送車総交通量は 367 台／10hr で、総交通量(1,639 台／10hr)に占める割合は 22.4%であった。

2) 堺基地周辺

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

時間交通量は 1,764～3,222 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～6 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 19 台／10hr で、総交通量(23,587 台／10hr)に占める割合は 0.1%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

1) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

時間交通量は 1,122～1,698 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～2 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 4 台／10hr で、総交通量(13,882 台／10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

7) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 3)

時間交通量は 1,500～2,952 台、廃棄物輸送車の時間交通量は 0～2 台で推移し、測定日の廃棄物輸送車総交通量は 3 台／10hr で、総交通量(21,309 台／10hr)に占める割合は 0.0%であった。この地点における総交通量に占める本事業の廃棄物輸送車の割合は小さいものと考えられる。

1) 堺基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は 2～55 台で推移し、全て廃棄物輸送車であった。測定日の廃棄物輸送車総交通量は 206 台／9hr で、総交通量(206 台／9hr)に占める割合は 100.0%であった。

(4) 悪臭

1) 大阪基地周辺

臭気指数は No.5 (風上)、No.6 (風下) とともに 10 未満であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

2) 堺基地周辺

臭気指数は No.5 (風下)、No.6 (風上) とともに 10 未満であり、規制基準値 (10) を下回っていた。また、臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

- 注）1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
- 公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）
- (1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
- なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。
- 75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
- 環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
- これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内の全ての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音(道路に面する地域)

廃棄物 搬入施設	測定地点	用途 地域	地域 区分	騒音に係る 環境基準値 (d B)	
				区域 区分	基準
大阪 基地	No.2 (大阪池田線沿道)	準住居	幹線 道路 (4)	特例	70
	No.3 (中島公園近傍)	第1種 住居	(2)	B	65
堺 基地	No.1 (大阪臨海線沿道)	第1種 住居	幹線 道路 (6)	特例	70
	No.2 (堺狭山線沿道)	近隣 商業	幹線 道路 (4)	特例	
泉 大 津 基 地	No.A (大阪臨海線沿道)	準工業	幹線 道路 (6)	特例	70
	No.B (泉大津美原線沿道)	準工業	幹線 道路 (4)	特例	

注：1. 上表の環境基準は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。

(昼間) 騒音に係る環境基準：午前6時から午後10時まで

2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」のことである。()内は面する道路の車線数である。

3. 区域区分は以下のとおりである。

幹線道路を担う道路に近接する空間は特例

B地域(第1種住居地域)のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域

4. 騒音に係る環境基準は L_{Aeq} によるものである。

2. 規制基準値等

(1) 水質（放流水）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度（pH）	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量（COD）	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質（SS）	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	全窒素（T-N）	120mg/L（日間平均 60mg/L）以下	30mg/L 以下
	全リン（T-P）	16mg/L（日間平均 8mg/L）以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（n-ヘキサン抽出物質）	鉱油類含有量：5mg/L 以下 動植物油脂類含有量：30mg/L 以下	同左
	大腸菌数	日間平均 800CFU/mL 以下	同左

- 注） 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋
2. 管理目標値は、事後調査計画における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

(2) 騒音・振動（要請限度）

廃棄物搬入施設	測定地点	用途地域	地域区分	自動車騒音の要請限度（dB（A））		道路交通振動の要請限度（dB）	
				区域区分	限度	区域区分	限度
大阪基地	No.2（大阪池田線沿道）	準住居	幹線道路（4）	b	75	第1種	65
	No.3（中島公園近傍）	第1種住居	（2）				
堺基地	No.1（大阪臨海線沿道）	第1種住居	幹線道路（6）	b	75	第1種	65
	No.2（堺狭山線沿道）	近隣商業	幹線道路（4）	c		第2種	70
泉大津基地	No.A（大阪臨海線沿道）	準工業	幹線道路（6）	c	75	第2種	70
	No.B（泉大津美原線沿道）	準工業	幹線道路（4）	c		第2種	

- 注： 1. 上表の環境基準及び要請限度は、いずれも昼間の時間の区分に係るものである。
- （昼間） 自動車騒音の要請限度：午前6時から午後10時まで
 道路交通振動の要請限度：午前6時から午後9時まで
2. 地域区分の欄の「幹線道路」は「道路に面する地域」のうち、「幹線交通を担う道路に近接する空間」のことである。（ ）内は面する道路の車線数である。
3. 区域区分は以下のとおりである。
- （自動車騒音の要請限度） b 区域（第1種住居地域、準住居地域）のうち車線を有する道路に面する区域
 c 区域（準工業地域）のうち車線を有する道路に面する区域
- （道路交通振動の要請限度） 第1種住居地域、準住居地域は第1種区域
 近隣商業地域、準工業地域は第2種区域
4. 道路交通騒音の要請限度は L_{Aeq} 、道路交通振動の要請限度は L_{10} によるものである。

3. 廃棄物等受入前調査結果（平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月・水質（処分場周辺））

区 分 項 目		廃棄物等受入前調査 (平成 20 年 5, 8, 11 月、平成 21 年 2, 5, 8 月) 処分場周辺（調査地点 13～18）	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [－]	上層	8.0 ～ 8.7 (19/36)	－
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/36)	－
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	2.1 ～ 8.1 (26/36)	4.3 ～ 5.8 (6/6)
	下層	1.5 ～ 3.3 (3/36)	2.4 ～ 3.0 (0/6)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	7.5 ～ 12 (0/36)	9.1 ～ 9.8
	下層	1.9 ～ 9.5 (9/36)	5.8 ～ 7.0
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]	上層	<0.5 ～ <0.5 (0/36)	<0.5 ～ <0.5
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.40 ～ 1.4	0.65 ～ 0.92 (6/6)
	下層	0.18 ～ 0.79	0.32 ～ 0.44 (0/6)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.033 ～ 0.18	0.067 ～ 0.097 (6/6)
	下層	0.014 ～ 0.16	0.034 ～ 0.075 (4/6)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 13～18 におけるそれぞれ全調査地点の最小値と最大値を示す。
2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
3. 「平均値」の値は、各調査地点における期間平均値の最小～最大を示す。

Ⅱ 事後調査結果

水質調査結果（放流水（連続測定：総括））[令和 7 年 8 月分]

項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カリン)]	1.2	～	2.1	1.6
水温	[℃]	32.0	～	34.2	33.1
pH	[－]	6.9	～	7.1	6.9
COD	[mg/L]	24.5	～	25.8	25.1
DO	[mg/L]	4.4	～	5.6	4.9

特記事項

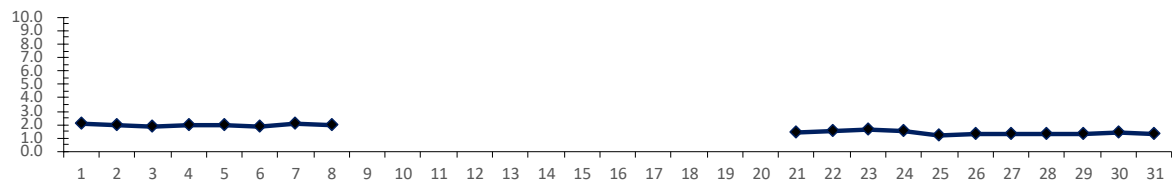
8/8(金) 13:00 水処理設備停止。

8/21(木) 13:30 放流運転再開。

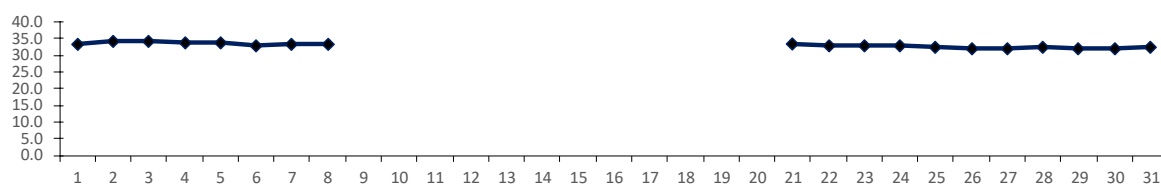
水質様式第7号

水質調査結果（放流水（連続測定））〔令和7年8月分〕

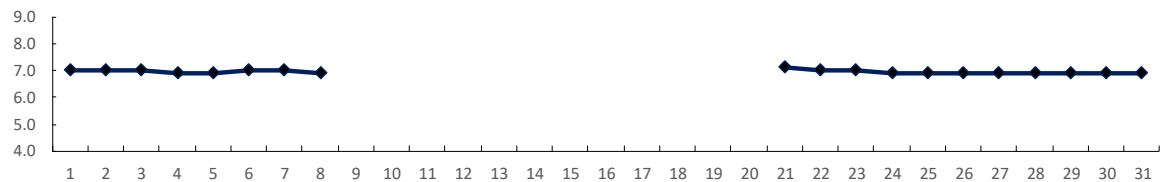
濁度〔度(カリソ)〕



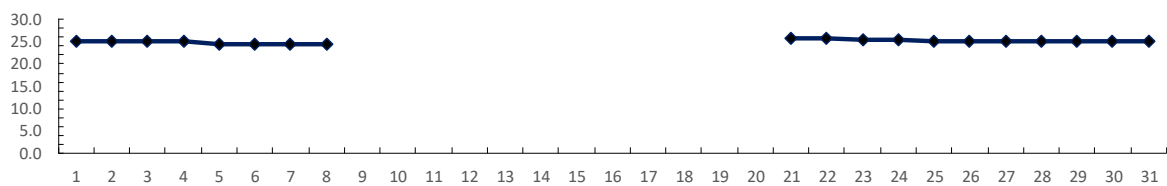
水温〔℃〕



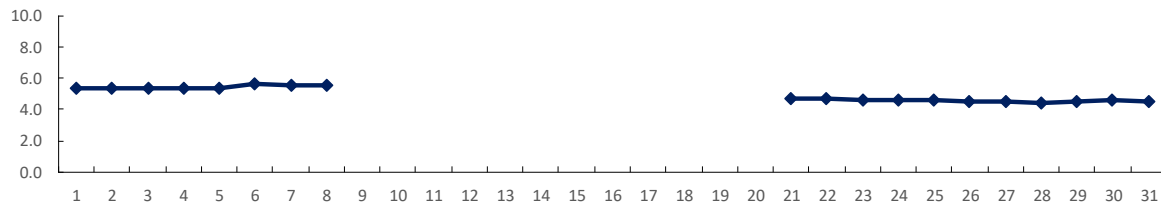
水素イオン濃度(pH)〔-〕



化学的酸素要求量(COD)〔mg/L〕



溶存酸素量(DO)〔mg/L〕



8/8(金) 13:00 水処理設備停止。
8/21(木) 13:30 放流運転再開。

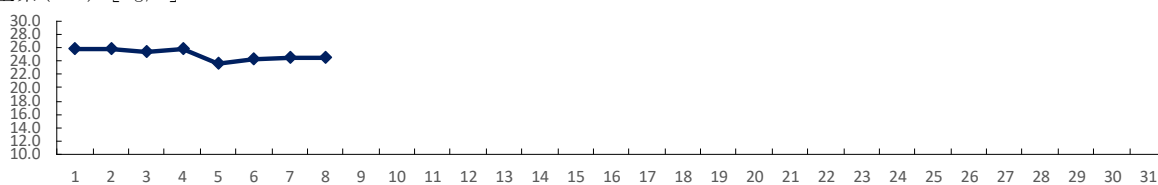
【参考】（自主検査）

T-N 連続測定器による水質調査結果（放流水）

水質調査結果（放流水（連続測定））[令和7年8月分]

項目 \ 区分		放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
全窒素	[mg/L]	23.7	～	25.8	24.9

全窒素 (T-N) [mg/L]



8/8(金) 13:00

水処理設備停止。

8/21(木) 13:30

放流運転再開。（全窒素計故障のため8/21(木)以降も欠測）

水質調査結果（放流水、内水①）〔令和 7 年 8 月分〕

調査日	区分	放流水			内水		
	項目	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
8/5	(火)	10:00	1	<1	9:40	4	2
8/21	(木)	—	—	—	9:40	3	2
8/26	(火)	10:00	1	<1	9:40	3	2
平均値		—	1	<1	—	3	2
最小値		—	<1	<1	—	3	2
最大値		—	1	<1	—	4	2

特記事項

8/21(木) 還流運転。

水質調査結果（放流水、内水②）〔令和 7 年 8 月分〕

調査日：令和7年8月5日

項目	区分	放流水	内水
時刻		10:00	9:40
pH	〔－〕	7.2(24℃)	7.7(24℃)
COD	〔mg/L〕	23	26
T-N	〔mg/L〕	25	40

特記事項

水質調査結果（放流水、内水③）[令和 7 年 8 月分]

調査日：令和7年8月5日

項目 \ 区分		放流水	内水
時刻		10:00	9:40
T-P	[mg/L]	0.03	0.10
n-ヘキサン抽出物質	[mg/L]	<0.5	<0.5
	鉱油類含有量 [mg/L]	<0.5	<0.5
	動植物油脂含有量 [mg/L]	<0.5	<0.5
大腸菌数	[CFU/mL]	26	0

特記事項

水質調査結果（護岸外周①）〔令和 7 年 8 月分〕

調査日：令和7年8月22日

調査点 項目		19	20	21	最小値	～	最大値	平均値
時刻		9:21	10:05	10:45	-			-
透明度	[m]	3.5	1.6	1.2	1.2	～	3.5	2.1
水温		29.7	30.1	30.3	29.7	～	30.3	30.0
	[℃]	27.4	26.3	26.6	26.3	～	27.4	26.8
塩分		26.6	24.3	24.3	24.3	～	26.6	25.1
	[－]	32.1	32.7	32.5	32.1	～	32.7	32.4
浮遊物質量（S S）		3	3	3	3	～	3	3
	[mg/L]	3	3	5	3	～	5	4
不揮発性浮遊物質量 （F S S）		1	2	1	1	～	2	1
	[mg/L]	1	2	3	1	～	3	2
水素イオン濃度 （p H）		8.4	8.5	8.7	8.4	～	8.7	-
	[－]	8.3	8.2	8.1	8.1	～	8.3	-
化学的酸素要求量 （C O D）		4.0	3.8	4.3	3.8	～	4.3	4.0
	[mg/L]	2.5	2.4	2.4	2.4	～	2.5	2.4
溶存酸素量 （D O）	濃 度	7.6	7.1	10	7.1	～	10	8.2
	[mg/L]	5.2	3.8	4.6	3.8	～	5.2	4.5
	飽和度	116	108	152	108	～	152	125
	[%]	79	57	69	57	～	79	68
全窒素 （T－N）		0.54	0.62	0.52	0.52	～	0.62	0.56
	[mg/L]	0.34	0.30	0.56	0.30	～	0.56	0.40
全磷 （T－P）		0.087	0.10	0.10	0.087	～	0.10	0.096
	[mg/L]	0.070	0.088	0.11	0.070	～	0.11	0.089
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5
大腸菌数 [CFU/100mL]		<1	<1	<1	<1	～	<1	<1

注）上段：上層（海面下1m）

下段：下層（海底面上2m）

但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌数は、上層の値を示している。

特記事項

水質様式第 16 号

水質調査結果（処分場周辺①）〔令和 7 年 8 月分〕

調査日：令和7年8月22日

調査点 項目		13	14	15	16	17	18	最小値 ～ 最大値	平均値
時刻		9:05	9:37	9:51	10:18	10:31	10:56	～	～
透明度 [m]		4.8	2.0	2.2	1.8	1.2	1.0	1.0 ～ 4.8	2.2
水温 [℃]		29.7	29.9	30.0	29.9	30.3	30.4	29.7 ～ 30.4	30.0
		27.2	26.7	26.3	26.3	26.3	26.4	26.3 ～ 27.2	26.5
塩分 [－]		28.8	26.1	24.5	26.2	24.5	24.7	24.5 ～ 28.8	25.8
		32.2	32.5	32.7	32.7	32.7	32.7	32.2 ～ 32.7	32.6
濁度 [度(カリソ)]		1	1	1	1	2	2	1 ～ 2	1
		1	2	4	3	2	2	1 ～ 4	2
浮遊物質 量 (SS) [mg/L]		3	3	3	3	4	3	3 ～ 4	3
		1	2	4	4	3	5	1 ～ 5	3
不揮発性浮遊物質 量 (FSS) [mg/L]		1	2	2	2	2	2	1 ～ 2	2
		<1	1	3	3	2	3	<1 ～ 3	2
水素イオン濃度 (pH) [－]		8.3	8.5	8.6	8.5	8.6	8.7	8.3 ～ 8.7	～
		8.1	8.2	8.0	8.0	8.0	7.9	7.9 ～ 8.2	～
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]		4.2	4.0	5.0	4.5	4.5	4.9	4.0 ～ 5.0	4.5
		2.3	2.4	2.1	2.0	2.0	2.0	2.0 ～ 2.4	2.1
溶存酸素量 (DO)	濃 度 [mg/L]	7.7	8.0	8.2	8.3	10	10	7.7 ～ 10	8.7
		5.2	5.5	4.5	3.7	2.7	3.2	2.7 ～ 5.5	4.1
	飽和度	119	122	125	127	153	153	119 ～ 153	133
	[%]	79	83	67	55	40	48	40 ～ 83	62
全窒素 (T-N) [mg/L]		0.37	0.64	0.49	0.57	0.33	0.25	0.25 ～ 0.64	0.44
		0.38	0.29	0.24	0.37	0.31	0.31	0.24 ～ 0.38	0.32
全磷 (T-P) [mg/L]		0.083	0.076	0.092	0.081	0.097	0.11	0.076 ～ 0.11	0.090
		0.053	0.058	0.073	0.074	0.083	0.085	0.053 ～ 0.085	0.071
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]		5.9	7.4	7.0	7.5	11	18	5.9 ～ 18	9.5
		0.5	0.9	1.4	1.1	1.6	1.7	0.5 ～ 1.7	1.2
n-ヘキサン抽出物質 [mg/L]		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5 ～ <0.5	<0.5
大腸菌数 [CFU/100mL]		<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ～ <1	<1

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）
但し、n-ヘキサン抽出物質及び大腸菌数は、上層の値を示している。

特記事項

大気質様式第9号（廃棄物搬入施設関連）

大気質測定結果総括表(大阪基地周辺)[令和7年8月分]

項 目		測 定 点	No. 2	No. 3
二酸化硫黄	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）		0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）		0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0	0
備 考				

大気質測定結果総括表(堺基地周辺)[令和7年8月分]

項 目		測 定 点	No. 1	No. 2
二酸化硫黄	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）		0	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）		0	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）		7	7
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0	0
	測定時間数（時間）		168	168
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0	0
備 考				

二酸化硫黄測定結果（大阪基地周辺）〔令和7年8月分〕

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	1 (金)	0.007	0.010	0.004	0.009
	2 (土)	0.005	0.007	0.004	0.005
	3 (日)	0.005	0.007	0.004	0.006
	4 (月)	0.006	0.008	0.005	0.006
	5 (火)	0.005	0.006	0.003	0.003
	6 (水)	0.006	0.007	0.003	0.004
	7 (木)	0.004	0.005	0.003	0.005
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.006		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.007		0.005	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.010		0.009	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

二酸化硫黄測定結果（堺基地周辺）〔令和7年8月分〕

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	19 (火)	0.004	0.007	0.004	0.006
	20 (水)	0.004	0.006	0.004	0.006
	21 (木)	0.008	0.060	0.004	0.006
	22 (金)	0.004	0.005	0.003	0.005
	23 (土)	0.004	0.006	0.004	0.007
	24 (日)	0.003	0.005	0.003	0.005
	25 (月)	0.004	0.005	0.003	0.006
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.005		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.008		0.004	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.060		0.007	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
集計の対象としない。

一酸化窒素測定結果(大阪基地周辺)[令和7年8月分]

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	1 (金)	0.003	0.008	0.003	0.014
	2 (土)	0.001	0.002	0.000	0.000
	3 (日)	0.001	0.002	0.000	0.000
	4 (月)	0.003	0.006	0.001	0.001
	5 (火)	0.004	0.010	0.002	0.008
	6 (水)	0.004	0.009	0.002	0.014
	7 (木)	0.004	0.010	0.002	0.009
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.003		0.001	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.004		0.003	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.010		0.014	

一酸化窒素測定結果(堺基地周辺)[令和7年8月分]

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	19 (火)	0.002	0.005	0.008	0.018
	20 (水)	0.003	0.008	0.007	0.020
	21 (木)	0.006	0.019	0.009	0.021
	22 (金)	0.006	0.021	0.008	0.017
	23 (土)	0.001	0.003	0.004	0.011
	24 (日)	0.000	0.000	0.002	0.003
	25 (月)	0.003	0.017	0.007	0.020
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.003		0.006	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.006		0.009	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.021		0.021	

注：1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 12 号（廃棄物搬入施設関連）

二酸化窒素測定結果(大阪基地周辺)[令和7年8月分]

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	1 (金)	0.007	0.012	0.011	0.022
	2 (土)	0.003	0.004	0.003	0.006
	3 (日)	0.004	0.005	0.003	0.006
	4 (月)	0.007	0.012	0.008	0.013
	5 (火)	0.006	0.007	0.007	0.012
	6 (水)	0.008	0.010	0.011	0.017
	7 (木)	0.008	0.012	0.011	0.017
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.006		0.008	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.008		0.011	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.012		0.022	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		0		0	

二酸化窒素測定結果(堺基地周辺)[令和7年8月分]

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	19 (火)	0.011	0.018	0.010	0.016
	20 (水)	0.012	0.023	0.011	0.020
	21 (木)	0.014	0.030	0.012	0.018
	22 (金)	0.012	0.023	0.010	0.018
	23 (土)	0.009	0.015	0.009	0.014
	24 (日)	0.006	0.008	0.008	0.015
	25 (月)	0.013	0.025	0.013	0.023
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.011		0.010	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.014		0.013	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.030		0.023	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以上 0.2ppm 以下 の 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下 の 日 数 (日)		0		0	

注：1 日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

窒素酸化物($\text{NO}+\text{NO}_2$)測定結果(大阪基地周辺)[令和7年8月分]

測 定 点		No. 2			No. 3		
項 目		日 平 均 値		1 時間値の 最高値 (ppm)	日 平 均 値		1 時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	$\text{NO}_2/\text{(NO+NO}_2\text{)}$ (%)		(ppm)	$\text{NO}_2/\text{(NO+NO}_2\text{)}$ (%)	
日 別 値	1 (金)	0.010	71.7	0.020	0.013	80.3	0.033
	2 (土)	0.004	65.3	0.006	0.003	100.0	0.006
	3 (日)	0.005	72.5	0.007	0.003	100.0	0.006
	4 (月)	0.010	69.0	0.016	0.009	91.9	0.014
	5 (火)	0.010	59.7	0.017	0.009	79.3	0.019
	6 (水)	0.012	66.1	0.018	0.013	82.7	0.029
	7 (木)	0.012	66.8	0.021	0.013	84.0	0.023
有効測定日数 (日)		7			7		
測定時間 (時間)		168			168		
期間平均値 (ppm)		0.009			0.009		
日平均値の最高値 (ppm)		0.012			0.013		
1時間値の最高値 (ppm)		0.021			0.033		
期間平均値 $\text{NO}_2/\text{(NO+NO}_2\text{)}$ (%)		67.0			85.1		

窒素酸化物($\text{NO}+\text{NO}_2$)測定結果(堺基地周辺)[令和7年8月分]

測 定 点		No. 1			No. 2		
項 目		日 平 均 値		1 時間値の 最高値 (ppm)	日 平 均 値		1 時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	$\text{NO}_2/\text{(NO+NO}_2\text{)}$ (%)		(ppm)	$\text{NO}_2/\text{(NO+NO}_2\text{)}$ (%)	
日 別 値	19 (火)	0.013	84.1	0.021	0.018	57.7	0.032
	20 (水)	0.015	81.3	0.028	0.018	59.5	0.033
	21 (木)	0.020	69.2	0.038	0.021	56.7	0.038
	22 (金)	0.017	68.2	0.044	0.018	55.2	0.035
	23 (土)	0.010	90.0	0.017	0.013	68.4	0.021
	24 (日)	0.006	100.0	0.008	0.010	79.1	0.018
	25 (月)	0.016	83.5	0.038	0.019	66.5	0.041
有効測定日数 (日)		7			7		
測定時間 (時間)		168			168		
期間平均値 (ppm)		0.014			0.017		
日平均値の最高値 (ppm)		0.020			0.021		
1時間値の最高値 (ppm)		0.044			0.041		
期間平均値 $\text{NO}_2/\text{(NO+NO}_2\text{)}$ (%)		79.1			61.8		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. $\text{NO}_2/\text{(NO+NO}_2\text{)}$ の算定方法は、下記のとおりである。

日(期間)平均値 $\text{NO}_2/\text{(NO+NO}_2\text{)}$

$$= (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO}_2\text{濃度の日(期間)間にわたる総和}) /$$

$$(\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間のNO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和})$$

大気質様式第 14 号（廃棄物搬入施設関連）

浮遊粒子状物質測定結果（大阪基地周辺）〔令和7年8月分〕

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)	日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)
日 別 値	1 (金)	0.020	0.038	0.022	0.046
	2 (土)	0.016	0.028	0.018	0.030
	3 (日)	0.018	0.032	0.021	0.044
	4 (月)	0.032	0.043	0.042	0.062
	5 (火)	0.016	0.047	0.020	0.042
	6 (水)	0.026	0.054	0.035	0.080
	7 (木)	0.019	0.045	0.024	0.055
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.021		0.026	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.032		0.042	
1 時間値の最高値 (mg/m ³)		0.054		0.080	
1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0		0	

浮遊粒子状物質測定結果（堺基地周辺）〔令和7年8月分〕

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)	日平均値 (mg/m ³)	1 時間値の 最高値 (mg/m ³)
日 別 値	19 (火)	0.013	0.031	0.011	0.022
	20 (水)	0.015	0.041	0.013	0.038
	21 (木)	0.015	0.041	0.009	0.028
	22 (金)	0.009	0.023	0.006	0.048
	23 (土)	0.025	0.052	0.021	0.065
	24 (日)	0.034	0.054	0.033	0.069
	25 (月)	0.034	0.051	0.027	0.050
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (mg/m ³)		0.021		0.017	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.034		0.033	
1 時間値の最高値 (mg/m ³)		0.054		0.069	
1 時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0		0	

注：1 日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 15 号（廃棄物搬入施設関連）

気象観測結果(風向・風速) (大阪基地周辺) [令和7年8月分]

測 定 点		No. 2				No. 3			
項 目		風 速			最多 風向 16方位	風 速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最 大 風 速			平均 風速 (m/s)	最 大 風 速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日 別 値	1 (金)	2.5	4.0	WSW	WSW	2.8	4.6	NE	SW
	2 (土)	2.6	4.4	N	N	2.9	5.2	N	N
	3 (日)	2.3	4.2	WSW	WSW	2.6	4.7	WSW	W
	4 (月)	2.9	5.1	W	W	3.3	5.8	W	W
	5 (火)	3.2	5.2	W	W	3.3	6.2	W	W
	6 (水)	2.9	4.2	W, WSW	W	3.0	5.2	WSW	WSW
	7 (木)	2.8	4.3	WSW	WSW	3.0	5.1	WSW	WSW
有 効 測 定 日 数 (日)		7				7			
測 定 時 間 (時間)		168				168			
期間平均風速 (m/s)		2.7				3.0			
期間最大風速 (m/s)		5.2				6.2			
期間最多風向 (16方位)		W				WSW			

気象観測結果(風向・風速) (堺基地周辺) [令和7年8月分]

測 定 点		No. 1				No. 2			
項 目		風 速			最多 風向 16方位	風 速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最 大 風 速			平均 風速 (m/s)	最 大 風 速		
			風速 (m/s)	風向 16方位			風速 (m/s)	風向 16方位	
日 別 値	19 (火)	1.3	1.8	WSW	WSW	1.1	1.7	W	W
	20 (水)	1.2	2.0	WSW	WSW	1.0	1.7	WNW, W	W
	21 (木)	1.2	2.2	WSW	WSW	0.9	1.6	SSE, W	WNW
	22 (金)	1.1	1.8	W	W	0.9	1.4	NW, W	W
	23 (土)	1.1	1.7	E	WSW	1.1	1.6	ESE	WSW
	24 (日)	1.1	1.7	SW, WSW	WSW	1.2	1.3	WSW, WNW, NW	WSW
	25 (月)	1.0	1.6	WSW	W	1.2	1.6	SSW, SE, ESE	W
有 効 測 定 日 数 (日)		7				7			
測 定 時 間 (時間)		168				168			
期間平均風速 (m/s)		1.1				1.1			
期間最大風速 (m/s)		2.2				1.7			
期間最多風向 (16方位)		WSW				W			

注：1 日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

大気質様式第 16 号（廃棄物搬入施設関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速(大阪基地周辺) [令和7年8月分]

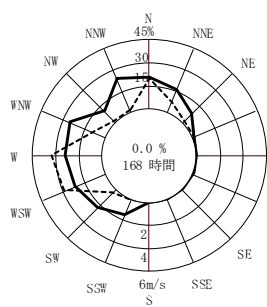
測定点: No.2

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	11	1	—	—	—	—	—	—	1	6	48	54	13	1	2	31	—	168
頻度 (%)	6.5	0.6	—	—	—	—	—	—	0.6	3.6	28.6	32.1	7.7	0.6	1.2	18.5	—	—
平均風速 (m/s)	1.9	1	—	—	—	—	—	—	1.4	2.2	2.8	3.1	3.2	1.3	3.0	2.5	—	—

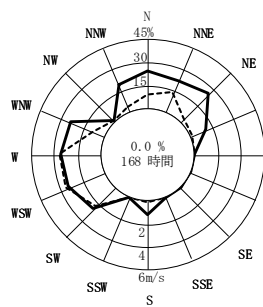
測定点: No.3

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	20	3	1	—	—	—	—	1	—	28	44	43	12	—	3	13	—	168
頻度 (%)	11.9	1.8	0.6	—	—	—	—	0.6	—	16.7	26.2	25.6	7.1	—	1.8	7.7	—	—
平均風速 (m/s)	2.7	3.2	1.3	—	—	—	—	1.1	—	2.5	3.2	3.3	3.0	—	2.3	3.0	—	—

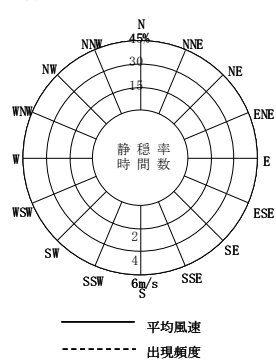
測定点: No.2



測定点: No.3



凡 例



風 配 図 (大阪基地周辺) [令和7年8月分]

風向別出現頻度及び風向別平均風速(堺基地周辺) [令和7年8月分]

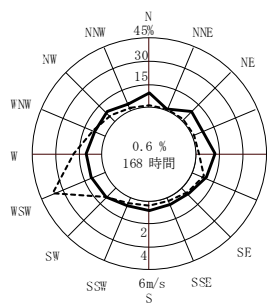
測定点: No.1

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	—	1	1	3	12	8	4	5	6	15	60	29	13	7	2	1	1	168
頻度 (%)	—	0.6	0.6	1.8	7.1	4.8	2.4	3.0	3.6	8.9	35.7	17.3	7.7	4.2	1.2	0.6	0.6	—
平均風速 (m/s)	—	1.0	0.9	1.6	1.2	0.8	0.6	0.8	0.8	1.2	1.3	1.3	0.9	1.0	0.5	1.1	0.3	—

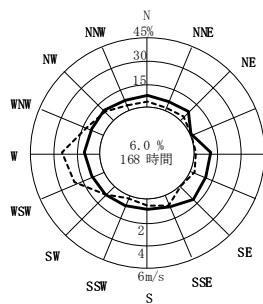
測定点: No.2

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	1	4	—	2	4	1	11	6	3	13	33	40	20	12	4	4	10	168
頻度 (%)	0.6	2.4	—	1.2	2.4	0.6	6.5	3.6	1.8	7.7	19.6	23.8	11.9	7.1	2.4	2.4	6.0	—
平均風速 (m/s)	0.7	0.9	—	1.4	1.4	1.6	1.0	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.1	1.1	0.8	0.8	0.2	—

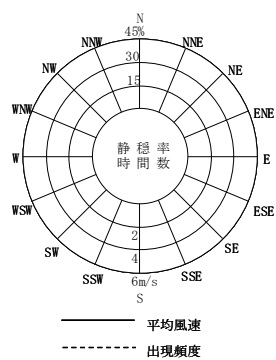
測定点: No.1



測定点: No.2



凡 例



風 配 図 (堺基地周辺) [令和7年8月分]

交通量様式第1号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果総括表（大阪基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査日時：令和7年8月1日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. 1	6, 155	6, 354	12, 509	11	0. 1
No. 2	3, 742	8, 472	12, 214	10	0. 1
No. 3	—	—	—	—	—
No. 4	715	924	1, 639	367	22. 4

交通量調査結果総括表（堺基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査日時：令和7年8月19日 8時～18時

調査地点	総交通量（台）				廃棄物輸送車混入率（%）
	大型車類	小型車類	合計	廃棄物輸送車	
No. 1	9, 151	14, 436	23, 587	19	0. 1
No. 2	3, 436	10, 446	13, 882	4	0. 0
No. 3	8, 235	13, 074	21, 309	3	0. 0
No. 4	191	15	206	206	100. 0

注：調査地点No. 4の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査地点：No.1

調査日時：令和7年8月1日

時刻	中島方面						歌島橋方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	270	522	792	0	34.1	0.0	306	204	510	0	60.0	0.0	576	726	1,302	0	44.2	0.0
09:00～	343	390	733	1	46.8	0.1	330	150	480	0	68.8	0.0	673	540	1,213	1	55.5	0.1
10:00～	282	234	516	0	54.7	0.0	397	138	535	1	74.2	0.2	679	372	1,051	1	64.6	0.1
11:00～	356	324	680	2	52.4	0.3	355	270	625	1	56.8	0.2	711	594	1,305	3	54.5	0.2
12:00～	296	300	596	2	49.7	0.3	366	342	708	0	51.7	0.0	662	642	1,304	2	50.8	0.2
13:00～	319	312	631	1	50.6	0.2	308	276	584	2	52.7	0.3	627	588	1,215	3	51.6	0.2
14:00～	378	300	678	0	55.8	0.0	271	210	481	1	56.3	0.2	649	510	1,159	1	56.0	0.1
15:00～	252	342	594	0	42.4	0.0	288	372	660	0	43.6	0.0	540	714	1,254	0	43.1	0.0
16:00～	312	234	546	0	57.1	0.0	300	504	804	0	37.3	0.0	612	738	1,350	0	45.3	0.0
17:00～	162	276	438	0	37.0	0.0	264	654	918	0	28.8	0.0	426	930	1,356	0	31.4	0.0
合計	2,970	3,234	6,204	6	47.9	0.1	3,185	3,120	6,305	5	50.5	0.1	6,155	6,354	12,509	11	49.2	0.1

交通量調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査地点：No.2

調査日時：令和7年8月1日

時刻	中島方面						歌島橋方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	156	348	504	0	31.0	0.0	156	348	504	0	31.0	0.0	312	696	1,008	0	31.0	0.0
09:00～	246	312	558	0	44.1	0.0	216	468	684	0	31.6	0.0	462	780	1,242	0	37.2	0.0
10:00～	186	270	456	0	40.8	0.0	284	438	722	2	39.3	0.3	470	708	1,178	2	39.9	0.2
11:00～	198	378	576	0	34.4	0.0	205	360	565	1	36.3	0.2	403	738	1,141	1	35.3	0.1
12:00～	187	330	517	1	36.2	0.2	126	270	396	0	31.8	0.0	313	600	913	1	34.3	0.1
13:00～	201	462	663	3	30.3	0.5	180	642	822	0	21.9	0.0	381	1,104	1,485	3	25.7	0.2
14:00～	234	432	666	0	35.1	0.0	181	426	607	1	29.8	0.2	415	858	1,273	1	32.6	0.1
15:00～	205	510	715	1	28.7	0.1	181	474	655	1	27.6	0.2	386	984	1,370	2	28.2	0.1
16:00～	150	402	552	0	27.2	0.0	174	522	696	0	25.0	0.0	324	924	1,248	0	26.0	0.0
17:00～	132	492	624	0	21.2	0.0	144	588	732	0	19.7	0.0	276	1,080	1,356	0	20.4	0.0
合計	1,895	3,936	5,831	5	32.5	0.1	1,847	4,536	6,383	5	28.9	0.1	3,742	8,472	12,214	10	30.6	0.1

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（大阪基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査地点：No.4

調査日時：令和7年8月1日

時刻	海方面						国道43号方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	31	102	133	7	23.3	5.3	12	42	54	0	22.2	0.0	43	144	187	7	23.0	3.7
09:00～	91	24	115	37	79.1	32.2	47	36	83	41	56.6	49.4	138	60	198	78	69.7	39.4
10:00～	47	19	66	30	71.2	45.5	38	25	63	27	60.3	42.9	85	44	129	57	65.9	44.2
11:00～	55	36	91	37	60.4	40.7	62	18	80	38	77.5	47.5	117	54	171	75	68.4	43.9
12:00～	31	67	98	20	31.6	20.4	41	18	59	23	69.5	39.0	72	85	157	43	45.9	27.4
13:00～	41	42	83	23	49.4	27.7	37	25	62	20	59.7	32.3	78	67	145	43	53.8	29.7
14:00～	39	31	70	22	55.7	31.4	24	49	73	19	32.9	26.0	63	80	143	41	44.1	28.7
15:00～	13	42	55	7	23.6	12.7	34	66	100	16	34.0	16.0	47	108	155	23	30.3	14.8
16:00～	18	18	36	0	50.0	0.0	42	60	102	0	41.2	0.0	60	78	138	0	43.5	0.0
17:00～	6	42	48	0	12.5	0.0	6	162	168	0	3.6	0.0	12	204	216	0	5.6	0.0
合計	372	423	795	183	46.8	23.0	343	501	844	184	40.6	21.8	715	924	1,639	367	43.6	22.4

交通量調査結果（堺基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査地点：No.1

調査日時：令和7年8月19日

時刻	大阪方面						和歌山方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	295	732	1,027	1	28.7	0.1	270	798	1,068	0	25.3	0.0	565	1,530	2,095	1	27.0	0.0
09:00～	626	768	1,394	2	44.9	0.1	544	576	1,120	4	48.6	0.4	1,170	1,344	2,514	6	46.5	0.2
10:00～	700	600	1,300	4	53.8	0.3	456	438	894	0	51.0	0.0	1,156	1,038	2,194	4	52.7	0.2
11:00～	714	702	1,416	0	50.4	0.0	378	624	1,002	0	37.7	0.0	1,092	1,326	2,418	0	45.2	0.0
12:00～	542	552	1,094	2	49.5	0.2	510	648	1,158	0	44.0	0.0	1,052	1,200	2,252	2	46.7	0.1
13:00～	323	498	821	5	39.3	0.6	385	558	943	1	40.8	0.1	708	1,056	1,764	6	40.1	0.3
14:00～	534	468	1,002	0	53.3	0.0	594	714	1,308	0	45.4	0.0	1,128	1,182	2,310	0	48.8	0.0
15:00～	438	642	1,080	0	40.6	0.0	504	666	1,170	0	43.1	0.0	942	1,308	2,250	0	41.9	0.0
16:00～	402	978	1,380	0	29.1	0.0	336	852	1,188	0	28.3	0.0	738	1,830	2,568	0	28.7	0.0
17:00～	252	1,332	1,584	0	15.9	0.0	348	1,290	1,638	0	21.2	0.0	600	2,622	3,222	0	18.6	0.0
合計	4,826	7,272	12,098	14	39.9	0.1	4,325	7,164	11,489	5	37.6	0.0	9,151	14,436	23,587	19	38.8	0.1

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（堺基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査地点：No.2

調査日時：令和7年8月19日

時刻	国道26号方面						阪神高速方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	126	252	378	0	33.3	0.0	150	594	744	0	20.2	0.0	276	846	1,122	0	24.6	0.0
09:00～	174	402	576	0	30.2	0.0	164	576	740	2	22.2	0.3	338	978	1,316	2	25.7	0.2
10:00～	224	444	668	2	33.5	0.3	264	450	714	0	37.0	0.0	488	894	1,382	2	35.3	0.1
11:00～	150	474	624	0	24.0	0.0	204	402	606	0	33.7	0.0	354	876	1,230	0	28.8	0.0
12:00～	132	510	642	0	20.6	0.0	174	516	690	0	25.2	0.0	306	1,026	1,332	0	23.0	0.0
13:00～	180	420	600	0	30.0	0.0	186	540	726	0	25.6	0.0	366	960	1,326	0	27.6	0.0
14:00～	228	522	750	0	30.4	0.0	198	486	684	0	28.9	0.0	426	1,008	1,434	0	29.7	0.0
15:00～	174	528	702	0	24.8	0.0	150	672	822	0	18.2	0.0	324	1,200	1,524	0	21.3	0.0
16:00～	192	666	858	0	22.4	0.0	102	738	840	0	12.1	0.0	294	1,404	1,698	0	17.3	0.0
17:00～	138	756	894	0	15.4	0.0	126	498	624	0	20.2	0.0	264	1,254	1,518	0	17.4	0.0
合計	1,718	4,974	6,692	2	25.7	0.0	1,718	5,472	7,190	2	23.9	0.0	3,436	10,446	13,882	4	24.8	0.0

交通量調査結果（堺基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査地点：No.3

調査日時：令和7年8月19日

時刻	和歌山方面						大阪方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）	交通量（台）				大型車 混入率 （%）	廃棄物 輸送車 混入率 （%）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	312	714	1,026	0	30.4	0.0	366	1,158	1,524	0	24.0	0.0	678	1,872	2,550	0	26.6	0.0
09:00～	456	552	1,008	0	45.2	0.0	558	546	1,104	0	50.5	0.0	1,014	1,098	2,112	0	48.0	0.0
10:00～	523	474	997	1	52.5	0.1	523	540	1,063	1	49.2	0.1	1,046	1,014	2,060	2	50.8	0.1
11:00～	450	450	900	0	50.0	0.0	444	546	990	0	44.8	0.0	894	996	1,890	0	47.3	0.0
12:00～	504	414	918	0	54.9	0.0	486	612	1,098	0	44.3	0.0	990	1,026	2,016	0	49.1	0.0
13:00～	336	486	822	0	40.9	0.0	288	390	678	0	42.5	0.0	624	876	1,500	0	41.6	0.0
14:00～	600	468	1,068	0	56.2	0.0	390	516	906	0	43.0	0.0	990	984	1,974	0	50.2	0.0
15:00～	528	726	1,254	0	42.1	0.0	295	492	787	1	37.5	0.1	823	1,218	2,041	1	40.3	0.0
16:00～	462	786	1,248	0	37.0	0.0	258	708	966	0	26.7	0.0	720	1,494	2,214	0	32.5	0.0
17:00～	276	1,578	1,854	0	14.9	0.0	180	918	1,098	0	16.4	0.0	456	2,496	2,952	0	15.4	0.0
合計	4,447	6,648	11,095	1	40.1	0.0	3,788	6,426	10,214	2	37.1	0.0	8,235	13,074	21,309	3	38.6	0.0

交通量様式第2号（廃棄物搬入施設関連）

交通量調査結果（堺基地周辺）〔令和7年8月分〕

調査地点：No.4

調査日時：令和7年8月19日

時刻	フェニックス方面						堺方面						合 計					
	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）	交通量（台）				大型車 混入率 （％）	廃棄物 輸送車 混入率 （％）
	大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車			大型車 類	小型車 類	計	廃棄物 輸送車		
08:00～	14	0	14	14	100.0	100.0	0	0	0	0	-	-	14	0	14	14	100.0	100.0
09:00～	20	1	21	21	95.2	100.0	34	0	34	34	100.0	100.0	54	1	55	55	98.2	100.0
10:00～	19	1	20	20	95.0	100.0	17	2	19	19	89.5	100.0	36	3	39	39	92.3	100.0
11:00～	8	2	10	10	80.0	100.0	11	2	13	13	84.6	100.0	19	4	23	23	82.6	100.0
12:00～	12	1	13	13	92.3	100.0	10	1	11	11	90.9	100.0	22	2	24	24	91.7	100.0
13:00～	13	1	14	14	92.9	100.0	15	1	16	16	93.8	100.0	28	2	30	30	93.3	100.0
14:00～	4	0	4	4	100.0	100.0	4	0	4	4	100.0	100.0	8	0	8	8	100.0	100.0
15:00～	5	1	6	6	83.3	100.0	5	0	5	5	100.0	100.0	10	1	11	11	90.9	100.0
16:00～	0	1	1	1	0.0	100.0	0	1	1	1	0.0	100.0	0	2	2	2	0.0	100.0
17:00～	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	95	8	103	103	92.2	100.0	96	7	103	103	93.2	100.0	191	15	206	206	92.7	100.0

注：堺基地入場門の閉鎖時間が17時45分であるため、調査時間を8時から17時までの9時間とした。

悪臭様式第 2 号

悪臭調査結果（大阪基地周辺）〔令和 7 年 8 月分〕

測定日：令和7年8月1日

調査地点		No.5（風上）	No.6（風下）
調査項目			
気 象	天候(当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気 温 (℃)	29.8	30.6
	湿 度 (%)	95	96
	風 向	南南西	南
	風 速 (m/s)	1.2	0.6
臭 気 強 度		0	0
臭 気 指 数		<10	<10
臭 質		無臭	無臭

悪臭調査結果（堺基地周辺）〔令和 7 年 8 月分〕

測定日：令和7年8月1日

調査地点		No.5（風下）	No.6（風上）
調査項目			
気 象	天候(当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気 温 (℃)	31.5	31.0
	湿 度 (%)	85	90
	風 向	西南西	南西
	風 速 (m/s)	2.1	1.1
臭 気 強 度		0	0
臭 気 指 数		<10	<10
臭 質		無臭	無臭